



進路だより 未来へむかって

発行者 新潟県立小出特別支援学校 川西分校 進路指導部

現場実習・校内実習ありがとうございました

たくさんの事業所様からご協力いただきました。大変ありがたいことです。生徒・保護者の皆さんは今回の実習の貴重な経験を、毎日の学びに繋げてつなげてほしいと思います。

現場実習・校内実習にご協力いただいている事業所様を紹介します。 (全2日事業所 ★印は新規協力事業所)

<企業>

千手温泉千年の湯 千手 松乃井酒造場 健康倶楽部たちばな★
 きものブレイン 越後しなのがわパル★ 越後妻有里山現代美術館★
 麺工房桐生 あおい妻有工房 JA十日町花卉野菜集出荷センター
 健康倶楽部十日町★ リオンドール十日町店 十日町情報館
 コープ中里 養護老人ホーム妻有荘 ひなの宿ちとせ★
 津南町森林組合 JA津南生活センター 苗場酒造場 ※商号略

<福祉事業所>

ワークセンターなごみ ワークセンターあんしん わっかふえ
 なごみの家 工房ぼちぼち★ しぐみの家 工房なかさと
 パン工房よつば ワークセンターかわにし

無事に現場実習・校内実習が終了し、1学期が終わりました。降雨の影響もあり、実習期間中に休校になるなど、ハプニングもありましたが、それぞれの実習先で任されたことを一生懸命に取り組んでくれました。

ご家庭からも勤務について励ましや称賛、昼食の準備や通勤経路の確認などご協力いただきありがとうございました。素晴らしい学び、経験ができたことに感謝申し上げます。今回の取組を機会に、進路についてご家庭で話題にしていだけたらと思います。

今回、事業所様から、以下のような褒めの言葉を頂きました。

- 指示されたことに素直に、意欲的(一生懸命)に取り組んでくれました。
- 服装(着こなし)がしっかりしていました。
- 挨拶がしっかりしていて、当社員も見習うべきことと思いました。
- 思ったより、覚えるのが速かったです。
- 業務を教えることで、職場の業務内容や安全意識の確認になりました。
- 障がい者に接することのない部署にも、理解をもらう良い機会になりました。
- 実習に意欲的で、学校に行きたくない(事業所に通い続けたい)と言っていました。 etc

逆に事業所様が、困った内容もお聞きしました。

- ▽体調管理をしっかりして毎日勤務できると良いです。
- ▽集中力や感情の起伏があり、落ち着いて持続してお仕事してほしいです。(現場で泣いてしまう)
- ▽言われたことはしてくれるけど、、もっと自分から動けると良いです。(挨拶・返事・質問・業務に対し受身)
- ▽実習期間中、生徒につきっきりようになってしまい、他の仕事ができなくなるので考慮してほしい。
- ▽基本的な所作(挨拶、理解してからの返事、質問、聞く態度、文具等の使い方等々)ができてほしい。 etc

現場実習・校内実習報告会

実習後、生徒たち自身はそれぞれの実習を報告し、仲間の取組を聞き、業種によってどんなことが求められる職場なのか、自分にはどんな課題があるのか、これからどんな場面で気を付けて取り組めば良いか確認しました。

グループごとに集まり、活動に沿った話し合いとなりました。仲間の頑張りも刺激になったようです。一部を写真でご紹介します。



全体で写真や動画を通して、働く様子を見て、できたこと、課題等を確認しました。



グループ内の話し合いでは、1年生も一緒に先輩の話を聞きました。



生徒の実態や経験によって、個別に聞き取りながら、課題確認をしました。



グループ内の発表の仕方各班内の課題に合わせてやり方を変えています。



教師がコーディネートし、実習先で感じたこと、大切なことを今後の課題へつなげていきます。



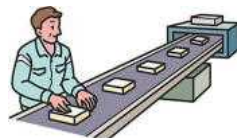
抽出した意見を視覚化し、確認しながら課題の見極めにつなげていきます。

実習が終わって、保護者の皆様から

保護者の皆様も実習中に色々と感じることがあったようです。アンケートにご回答頂き、「なるほど〜！」と感じることも多々ありました。親の立場での意見、視点として、参考にさせていただき、夏休みの生活指導にもつなげて頂けると幸いです。

①実習を通して気付いたこと

- 挨拶が一番大切だということを改めて意識したようです。日々声が大きくなっていますと実習日誌に書かれていて、努力したんだなと思いました。(2)
- ▽言われたことだけするといった感じです。やれば良いと思っているのか、今のところ進歩があまりありません。
- ▽朝熱を測ったり、夜早く寝るように気を付けたり、自分で体調管理をする姿がありませんでした。
- 作業をしなければならない力が付いたと思います。
- 精神面での成長があったように思いました。(6)…(真面目さ、我慢、根気、粘り強さ、集中力の持続、失敗しても次頑張ろうという前向きな気持ちなど)
- 実習日の反省がしっかりできていて驚きました。次はこうしたいという目標ができることもとても良いことだと思いました。
- 本人が早寝早起き身支度確認し、疲れても頑張る気持ちを心掛けていました。
- ▽家で話をしないので、なかなか様子が分かりません。
 - ・特にありません。いつもの様子と変わりません。(2)
- 実習を通して、仕事の難しさが理解できたようでした。
- ▽大きな声で返事、あいさつが上手いかなかったです。
- 自分でお弁当を詰めていけるようになった。(2)
- 1人で時間を決めて遅刻することなく実習先にに行ったことは大きな成長だったと感じました。
- 辛いとか愚痴を言いませんでした。
- 「3週間お弁当を作ってくれてありがとう」とお礼を言ってきました。
- 言葉の端々に「仕事ができる」と出るようになり、自信なのか表情が明るく感じました。
- 時間内にお弁当をいつも食べきれず、困っていましたが、今回の実習では、時間を意識して時間内に食べられるようになったようで、成長を感じました。
- 声を出して報告ができるようになったことに成長を感じました。
- 食品関係の実習を通じて、食べるものに関する関心が強くなったようです。作って食べることは、大変なことだと実感したみたいでした。
- 「また来てね」と言われたことがうれしかったようです。(3)
- 現場で「明日はこの仕事が見たいです」と言っていたようです。仕事に対してとても意欲的になったと思います。
- お客様に接する機会がある職場だったので、一生懸命やるだけではなく、笑顔で仕事(対応)することが大事だと気付いたようでした。
- 現場の方に気をつけていただき、ありがたかったです。(2)
- 徒歩で通えることは、出勤時間の調整が楽だと思いました。



実習を機会に良い変化が出てきたようです。
夏休みの生活でも継続してほしいと思います。

②子どもに支援をしようまくいった支援、難しいと感じられた支援

- 実習について励ましながら食事をするようにしたら、やる気を出し、普段よりたくさん食べてくれました。
- ▽実習中は早めに食べさせ、早めに休めるようと声掛けしたのですが、普段の習慣を切り替えにくく反省しています。
- ▽親が何か言ってもすぐカッとなるようなので、なるべく朝からイラツとさせないようにと思っていますが、関わり方がなかなか難しいです。
- ▽実習中に指導されたことや注意を受けたことを、家でうまく話すことができず、家で1日の振り返りをするのが難しいことがありました。
- ▽実習期間中だからという訳ではありませんが、くしゃみが出たりしていたのでマスクを着用するように言い、それはどうしてかと考えさせるようにしましたが、細かいことを面倒くさがったりするので、しっかり考えて欲しいと思いました。
- ▽まだ働くというのを実感できていないのが現在の所です。どうしたら分かるようになるのか、悩んでいます。
- ▽1年生の時は緊張もあり、早寝早起きでしたが、2年目となり悪い意味での慣れが出てきてしまったようで、早起きができませんでした。
- 朝何時に出掛ければいいのかアドバイスをしたら、しっかり行動できました。(2)
- ・いつもと変わらない接し方だったので…。支援等はしていません。(3)
- 帰ってきたら疲れているので、夕食後少し寝て、入浴という流れにしました。ベットに入る時間が遅くはなりましたが、少し寝た方が良かったようです。
- 週末には、ちょっとした気分転換で楽しみを作るようにしました。
- 挨拶や笑顔を心掛けるように常に声を掛けました。
- ▽夫婦共働きで忙しく、毎日お弁当を作るのは難しいと思いました。(2)
- あまり声掛けをしすぎて、心配させるのもどうなのかなと思い「気を付けてね」の一言だけ声を掛けました。
- ▽身だしなみの件で、以前は素直に美容院へ行ってくれたのですが、ここ最近髪をカットするのを嫌がり、実習までに髪を切ることができなかったことがありました。(以前はスムーズに取り組んでいたことが、今回はつまづいたので戸惑いました。)
- あまり歩くことは得意じゃないのですが、行き帰り自力で歩いて通勤になるようにしました。
- 毎日「頑張れる？」と聞くと、「頑張る」と返事が返ってきました。
- 実習前に実習先の施設を利用して、どんな様子かなど雰囲気味わってみました。
- バスの時間など事前に調べる機会をもちました。
- 疲労感からグズグズしていました。話を聞いたり、励ましたり、早めに寝るように促しました。(2)
- 保護者送迎だったのですが、できるだけ早く行けるよう私が支度をしていると、本人もそれが分かったのか、自分の支度や家のことをやってくれました。
- 一緒に通勤練習できたおかげで、毎日しっかり通えるように励ますことができました。職場でも溶け込んで活動できるように日々やったことを話し合うことができました。



▽難しかったのは、大雨で休みになったら、次の日も雨で休みだと思っていたことです。雨だと休みになると思ってしまいました。

○家族皆が実習に興味をもち、応援していたこと(声掛けなど)で本人のやる気も上がったことと思いました。

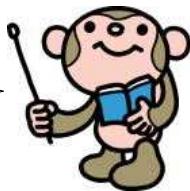
○子供が嫌がっても家の手伝いをどんどんさせることは、社会で働いていくにあたってとても大切だと再確認できました。

▽現場への送迎は苦しかったです。

○早めに就寝させたり、頻繁に激励の言葉を掛けたり、1日の終わりには(毎晩)たくさんほめてあげました。



保護者の立場で「むずかしいなあ」と思うことが色々あったようです。卒業したら一番身近な支援者は保護者です。卒業までの時間で、作戦を考えておくの良いです



③保護者の方が学んだことや感じたことをお聞かせ下さい。



・卒業後も親が先に出勤して子供があとから出勤の場合も時間によってはあるかもしれないので、自分のことをしっかりやれて1人でも家を出ていけるようにしなければと思いました。(2)

・家へ帰って来てても携帯ばかりで、ルールが守れず社会に出て大丈夫だろうか？心配です。

・初めての实習先でしたが、前向きな気持ちで体調をくずすことなく、3週間頑張れたことは良かったと思いました。

・体力や集中力が大切に、そのためにも本人が「生活習慣を管理できるようにならなくては」と感じました。

・自分自身の体調管理、身だしなみ等、普段から気を付けて生活していかなければということを変えて親も気付かされました。

・仕事をするにあたり、人と人の関わりが大事だと思いました。(2)

・現場の様子は分りませんが、あまり変化に過敏にならない子なのかな？と思いました。仕度もほとんど手を掛けないので、自立ができていないのではないかと思います。(仕事は別ですが)

・職場の環境はとても大きいと思いました。

・あと1年で働く場所を決めなければならないことに不安を感じます。まだ何がやりたいことなのか、何が一番出来るのかが本人も親も分かりません。

・今回はふれあいジョブも現場実習も一般企業でした。やはり一般企業は厳しいと感じましたが、本人の意識を変えて、出来れば一般企業に就職して欲しいと思いました。

・ラップをかけるという作業を見学しましたが、簡単そうに見えて、最初はシワが寄ったり、大変という話を聞きました。それを丁寧にやっているのを見て、根気のいることもできるかもしれないと思いました。

・本人がとてもやる気があると感じました。とてもうれしく思いました。(3)

・今のまっすぐな気持ちを大切にしてほしいと思います。

・昨年から少しずつ職場実習の経験を積み、実習に対する気持ちの向け方は慣れてきているようで、昨年より落ち着いていました。“仕事頑張る！”など伝えてきたり、1日の流れをつかめていたり、安心感がありました。職場は毎年違う職場ですが、経験することで自分なりに

心構えを学んでいる様子を感じました。

・自分が製造に関わった商品がスーパーに並んでいると、とてもうれしく思ったらしく、にこやかにになりました。生きること、生活することは、大変だと感じてくれたようです。

・「就労継続支援B型」のサービスが合っているのかな、と思いました。

・卒業後ちゃんと受入先はあるだろうか？と不安にもなりました。

・バスで通勤しましたが、普段と違うととまどうことも多いので、細かいことの繰り返しの練習が必要になることが分かりました。

・通勤の往復時に昔の友達や同級生で他の職場実習の子供とおしゃべりしたり、報告し合ったりしている姿を見て、社会で生きていくというのはこういう交流も大切だと思いました。

・最近確実に校外での人との関わりが増えてきて嬉しく思います。実習や校外活動の1つ1つの経験を将来に活かしていってほしいと思いました。

・1人暮らしができるようになるとういこと思いました。

・実習現場では発作は出なかったが、期間中数回の発作があり、実習を休んでしまった日もありました。今後の進路についても、最悪の事態も考えなければと思いました。

・実習期間は一定期間ですが、実際の就労になると長期になるので、集中力が継続できるか、また継続できるようにどうしたらいいか、これからも模索して行かなければと思いました。

内容を見させてもらい、「ご家族が気付いている課題がある」、「進路の不安を抱えている」と感じました。相談したいことがあればいつでもお声掛け下さい。



④その他、今回の実習で気付かれたこと、次回の実習や社会参加について思うことなどをお聞かせ下さい。

・その日の気分や作業内容によって一概に言えないとは思いますが、積極的に作業に向かっている姿が見られて良かったと思います。

・今後の現場実習において、現場のスタッフの方とうまくコミュニケーションがとれるか、また公共交通機関による移動がスムーズにできるか不安があります。

・自分から何の作業をしたらいいのかが、まだ分からないので、いろいろと経験が必要かと思えます。

・字の汚さ、もう少し丁寧に記入して欲しいです。

・実年齢より幼い子供が多いと思うので、受け入れていただく職場もなかなかないのではないのでしょうか。(受け入れによるメリットなどあるといいのかなあ…)

・仕事とは別に、卒業後も仲間と関わることがあれば良いと思っています。例えば、ネージュスポーツクラブなど。本人はまだその気ではありませんが…。

・通勤方法をどうするか考えていかなければならないと思いました。(2)

・次回は冬などの実習もあるので、天候による通勤の困難さもあると思います。対応できるよう、練習も必要だと思っています。

・いつも1人の実習なので、できれば誰か1人他にもいてもいいかな？と思えます。私と本人の意見です。

・支援をしていただいでできること、自分の力でできること、改めて考えてみると、よく分からないことなど、とにかくたくさん経験をしてみなくてはならないと思いました。今後ともよろしくお願ひします。

・期間中の土曜日に職場からTELがあって「無断欠勤しています。」と言われて驚きました。本人は出掛けていて後で話しましたが、土曜日は休むことが伝わっていないようで、本人・家族とも動揺しました。

- ・実習やふれあいジョブは将来の仕事のためだけでなく、地域の人に存在を知ってもらったり、つながりができたりするといい制度だと思います。たくさんの方に働き掛けていただきありがとうございます。
- ・責任感を真剣に考えて行動することは大切です。
- ・働くことが本人にとってやりがいを感じる。社会のために、誰かのために役立っているということを理解できるように、親が支援していくことが大事(必要)だと思います。

保護者の皆様、多項目に渡りアンケートのご協力ありがとうございました。

生徒にも伝えていますが、毎日の生活が一番の学習です。課題に対する練習の機会を確保し、繰り返していけるよう、学校も支援していきます。



新潟県立小出特別支援学校 川西分校 PTA進路研修会のご案内

既にご案内していますが、今年は「性に関する講演会」を行います。
下記の日程で行いますので、スケジュールをご確認いただき、気を付けてご来場下さい。「都合がついたので、今から参加を希望したい」という方は、学校へご一報下さい。(025-768-3325 担当:細井・齋木・齋喜)
多くの皆様からの参加をお待ちしています。

7月の進路教室

期日	演題・講師
8月22日 (火)	知っておきたい10～20代の性 仲 栄美子 様 (医療法人社団たかき医院 産婦人科医)

<時間> 14:00～15:30

<場所> 新潟県十日町地域振興局 1階:会議室



不明な点があれば、いつでもお問い合わせください。

新潟県立小出特別支援学校川西分校

TEL 025-768-3325

FAX 025-768-3371

担当:進路指導部 細井哲明 齋木秀夫

佐藤正高 黒木里佳

